

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）メールマガジン



第 26 号（2018.01.19）

発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）



■目次

1. 寄稿

『MMを通して社会を学ぶ』

【京都教育大学 教授 水山光春 】

2. 交通環境学習の取り組み

3. ニュース/トピック

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

5. その他

1. 寄稿

『MMを通して社会を学ぶ』

【京都教育大学 教授 水山光春】

一般に、学校で「社会」について学ぶとき、その学び方には大きく分けて次の三つのスタイルがある。

- ①：社会のしくみや構造，価値観，問題点等について理解し，知識として蓄える。
- ②：①にとどまらず。①の問題点について，選択し，判断し，意思決定する。
- ③：②にとどまらず，積極的に社会に働きかけ，参加・参画していく。

①～③は，個人的な問題解決から集団的な問題解決へと，その共同（協働）性を高めていく。つまり相手のあることなので，その実行・実現は困難となっていく。例えば，電気・エネルギー問題に関連して原子力発電を主題として扱ったとしよう。なぜ，福井県や福島県に原子力発電所が多く立地しているのか，その理由を考えるのは①である。また，①で学びが終わってしまうと，たとえ小学生といえども満足しない。しっかり学べば学ぶほど，今後も継続すべきか，それとも廃止すべきかを議論したくなる。これは②である。ここまではなんとか個人で可能であったとしても，では③となると，小学生や中学生の子どもにできることは限られている。せいぜい「無駄な電気は使わない」「こまめに照明の電気を消す」くらいしかない。

しかし，MMとなると話は違ってくる。例えば地域の交通事情を主題とするとき，なぜ幼児やお年寄りを巻き込んだ交通事故が多いのか（①），事故を減らすために信号機や横断歩道を新たに設置するべきか（②），設置した方がよいと判断したとして，それはどこに設置すればよいか，そのためにどこにどのように働きかけていくか（③）等々，MMには，子どもたちにとって身近に学べること，できることが多くある。社会的なことがらについて，①～③までを含んで，小学校1年生から高校生，大学生まで，深くも広くも学ぶことができる主題はそうそう多くない。かつて「地方自治は民主主義の学校」と呼ばれた（それだけ地方自治には民主主義に関連して学ぶ場面が多い）が，今，「MMは社会の学校」と言ってよいのではないか，それだけの可能性がMMにはあると思うし，今後の発展に大いに期待している。

※本寄稿文は，下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga26.pdf

2. 交通環境学習の取り組み

■Able-on-radio は 10 月 3 日、佐賀市交通局の協力得て金立特別支援学校の車いす利用者向けに「車椅子でも楽々！ノンステップバスの乗り方教室」を実施。車いす利用者が積極的にノンステップバスを利用できるように、行き先確認や時刻表の見方、乗降方法などの体験を行った。

<http://able-on-radio.webnode.jp/%E3%83%8E%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%83%E3%83%97%E3%83%90%E3%82%B9/>

■北海道札幌市は 10 月 15 日、札幌交通局教習所で乗車マナー教室を実施。午前はトライ青年学級、午後は手をつなぐ育成会・札幌ポプラ会・北海道小鳩会が参加。地下鉄や路面電車の裏側に触れ、乗車マナーを学んだ。

<http://www.city.sapporo.jp/st/jyousyamana-kyousitu2017.html>

■三重県津市、中部運輸局三重運輸支局、三重県バス協会は、10 月 19 日、津市立安東小学校で 1 年生 17 人を対象に、バスの乗り方教室を開催。バスの乗降方法や乗車マナーの講義だけでなく、乗車体験も行った。

<http://www.info.city.tsu.mie.jp/www/koho/houdou/2017101302.pdf>

■栃木県宇都宮市の清原東小学校は 10 月 27 日、宇都宮市と栃木県バス協会の協力を得て、2 年生を対象にバスの乗り方教室を実施。バスに乗る時の注意点や料金の支払い方を学習するとともに、乗車体験も行った。

http://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-e/index.php?block_id=206&post_id=326&comment_flag=1&action=journal_view_main_detail

■千葉県袖ヶ浦市は 11 月 4 日、市民会館まつりでバスの乗り方教室を実施。実際のバスを使用しての内輪差と死角についての学習や、電子マネーの使った乗車体験を実施。バスガイドや運転手の制服試着体験なども実施した。

<https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/kikaku/shiminkaikanmaturi.html>

■東京都の西東京バスは 11 月 5 日、羽村市産業まつりで羽村市のコミュニティバス「はむらん」の展示とバスの乗り方教室を実施。また 11 月 9 日には、川口小学校でバスの乗り方教室を実施した。

<http://www.nisitokyobus.co.jp/nishichun/work.html>

■兵庫県淡路市の一宮小学校は11月7日、1、2年生を対象に、バスの乗り方教室を実施。淡路交通の協力により、紙芝居を使った路線バスの乗降方法を学ぶとともに、実際のバスを使い、運賃の見方や支払い方などの乗降体験も行った。

<http://awaji.aw-ansin.net/ansin/user/2020/blog/showDetail.do.jsessionid=D0041188BED78C316B53B83D2F92C5BF?articleId=287&blogCategoryId=184>

■愛知県小牧市は11月18、19日に開催された「2017いきいきこまき（環境フェア）」で、バス・タクシー乗り方教室を実施。バスやタクシーの乗り方説明や市内公共交通の時刻表を配布したほか、ジャパントクシーの車両展示なども行った。

<http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/toshikensetsu/toshiseisaku/2/4/3/kokyokotsuriyosokushinkyogikainitsuite/5837.html>

■長野県長野市の保健福祉部高齢者福祉課は、11月22日に柳原地区でバスの乗り方教室を実施。70歳以上を対象とした一般路線バスや市営バスを安価で乗車できる「おでかけパスポート（IC機能付きカード）事業」の説明や使い方のほか、寸劇による交通安全の呼びかけなどを行った。

<https://www.city.nagano.nagano.jp/uploaded/attachment/302016.pdf>

■札幌市交通事業振興公社は1月10、11日に、小学生（全学年）約60名を対象に『平成29年度「子ども市営交通教室＝市電を学ぼう（冬）」』を実施。貸切電車への乗車や電車事業所見学（運転台体験、工場見学）などを行った。

<http://www.stsp.or.jp/event/h29/koutuukyoushitsu2017winter.html>

■10月12日、四国運輸局、香川県トラック協会、JAF香川支部は協力して坂出市立府中小学校で「交通安全・省エネトラック授業」を実施。トラックの燃料消費など、交通分野での省エネと環境についての学習や、シートベルトの重要性と反射材の効果体験を行った。

http://jafevent.jp/area/shikoku/kagawa/news/1710_37_008_9.html

■北海道室蘭市は、市内3小学校の5年生を対象に「交通エコロジー教室」を実施。地球温暖化対策と公共交通機関利用の授業や地球儀模型を使った二酸化炭素の温室効果実験のほか、ハイブリッドバスの試乗体験などを行った。

http://www.city.muroran.lg.jp/main/org3300/ecology_class.html

3. ニュース/トピック

■札幌市交通事業振興公社、平成29年度市営交通マナーポスターを掲出

札幌市交通事業振興公社は10月1日～3月31日まで、平成29年度市営交通マナーポスターを掲出。ポスターデザインは6月9日から8月21日まで公募を行い、応募のあった作品の中から最優秀賞の2作品が掲出されている。

<http://www.stsp.or.jp/event/h29/manapo.html>

■長崎運輸局、修学旅行生を対象に「海事教室」を実施

九州運輸局長崎運輸局は10月25日、修学旅行で長崎を訪れた私立京都聖母学院小学校5年生95名を対象に「海事教室」を実施。造船所の見学や船や港の仕事に関する講話があったほか、進水式の見学なども行った。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20171024-senpakusangyouka.pdf>

■津軽鉄道、鉄道カフェの日を開催

青森県の津軽鉄道において津軽鉄道サポーターズクラブ主催で11月3、4日、第6回鉄道カフェの日を開催。スタンプラリーや4つの駅に貼ってある“文字”を集めるワードゲームのほか、冬期限定のストーブ弁当や鉄道用ターンテーブルを模したピザなどの販売も行われた。

<http://tsutetsu.com/archives/2275.html>

■近畿運輸局和歌山運輸支局、小学生を対象に「海の教室」を開催

近畿運輸局和歌山運輸支局は海事関係団体等と11月18日、和歌山市内の小学生4年生以上とその保護者を対象に「海の教室～親子で乗船体験～」を実施。和歌山港から徳島港への体験乗船中に、フェリーかつらぎの船内見学やライフジャケットの着用体験等を行った。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kinki/press/11pdf17-185.pdf>

■山梨県、「やまなし公共交通フェスティバル2017」を開催

山梨県は12月9日、甲府駅北口のよっちゃばれ広場やペデストリアンデッキなどで「やまなし公共交通フェスティバル2017」を実施。バス車両の展示のほか、バスとの綱引きや巨大バスマップすごろくの展示などが行われた。

https://www.pref.yamanashi.jp/kotsu-seisaku/2017_koutsufesta.html

■北茨城市巡回バス、児童らの絵デザイン化してラッピング

茨城県北茨城市は12月20日、ラッピングを施した市内巡回バス2台がお披露目された。1台は東京藝術大学と市内の子どもが制作したデザイン、もう1台は地域おこし協力隊の夫婦のデザインとなっている。

<http://www.city.kitaibaraki.lg.jp/docs/2017121600017/>

■バスタ新宿、帝京大学と連携したペーパーバスケットの販売を開始

バスタ新宿はバスタ新宿の魅力アップと地域活性化のため、大学機関等との連携や地方と連携した地場製品の普及、消費拡大などの取組を行っている。その一環として、帝京大学と協働し、乗車記念やみやげ用のペーパーバスケットを商品化。12月26日よりバスタ新宿限定で販売されている。

http://www.teikyo-u.ac.jp/campus_news/hachioji/2017/1221_7043.html

■横浜市市営バス・市営地下鉄、通学定期券の値下げを実施予定

神奈川県横浜市の市営バス・市営地下鉄は、子育て世帯の家計負担軽減を目的に平成30年3月から通学定期券の値下げを予定。6か月定期であれば、市営バスでは約13～19%の値下げ、市営地下鉄では約10～12%の値下げとなる。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/koutuu/kigyo/newstopics/2017/news/n20170908-8411-01.html>

■神戸市市営地下鉄海岸線、中学生以下無料化社会実験を実施

兵庫県神戸市の市営地下鉄海岸線では、沿線の市街地西部地域への若年世代・子育て世帯等の交流・流入・定住を促進し、将来の乗客増を目的して中学生以下の運賃無料化社会実験が平成30年3月31日まで実施されている。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2017/06/20170629704101.html>

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

●かんきょうフェスタ in チカホ

日時：平成30年1月21日（日）10:00～16:00

場所：札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）

主催：環境省北海道地方環境事務所、北海道、北海道地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人北海道環境財団）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/kankyo-festa.htm>

●第36回EST創発セミナー in 宇部〔中国〕

～みんなで愉しむ 宇部市の公共交通～

日時：平成30年1月31日（水）13:30～16:45

場所：宇部市文化会館「文化ホール」

主催：国土交通省中国運輸局、宇部市、EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu53.html>

●地域と教育を元気にするフォーラム「社会の基盤と学校教育」

日時：平成30年2月1日（木）14:30～17:30

場所：TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3階カンファレンスルームB

主催：一般社団法人北海道開発技術センター

http://www.decnet.or.jp/information/seminar2018_0201.pdf

●第37回EST創発セミナー in 和歌山〔近畿〕

日時：平成30年2月17日（土）13:30～16:45（受付開始：13:00～）

場所：和歌山市男女共生推進センター 6階「ホール」

主催：国土交通省近畿運輸局、EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu55.html>

●第11回EST普及推進フォーラム

～地方から始まる新たな交通政策を考える～

日時：平成30年2月20日（火）13:30～17:10（受付開始：13:00～）

場所：ルポール麴町 2階「ロイヤルクリスタル」

主催：EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum11.html>

●第16回 地域バス交通活性化セミナー

「女性の活躍が公共交通の未来をきりひらく」

日時：平成30年2月23日（金）13:40～16:40

会場：メルパルク長野 3階「白鳳」

主催：国土交通省北信越運輸局、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/16th_seminar.html

